

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Kids house Okay		
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月30日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないよう工夫し、子どもが主体的に参加できる活動を取り入れている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に行う活動も取り入れながら、子ども自身が工夫する過程を実感できるよう支援している。</li> <li>子どもの主体性や対話を大切に、子ども同士で考える時間を設けることで、経験や深い学びにつなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小集団の中で、子どもの「やってみよう」という気持ちを大切に見守り、「できた」という体験を丁寧に言語化することで、自己肯定感につなげられるよう支援を充実させていきたい。</li> </ul>
2	日々の記録を徹底し、支援内容の振り返りや検証につなげている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の記録を通して、支援の振り返りや子どもたちの取り組み・変化を把握できるようにしている。</li> <li>子ども一人ひとりの強みを活かしながら、苦手な部分への関わり方や支援方法を検討し、個々に応じた支援につなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員一人ひとりの気づきを事業所全体で共有し、支援の質向上につなげていきたい。</li> <li>また、子どもに関わる関係機関や保護者との共通理解を深め、より連携した支援を行っていきたい。</li> </ul>
3	年中児から中学1年生まで、幅広い年齢の男女児童と一緒に活動している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>年齢の異なる児童同士が関わる中で、見よう見まねでさまざまなことを学び、情報共有やチャレンジにつながる環境づくりを大切にしている。</li> <li>小集団の中で、譲り合いや話し合いを経験しながら、折り合いをつける力を育めるよう、子ども同士の対話を大切にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制作や活動の工程について、複数の難易度を選択できる環境づくりを行い、子ども一人ひとりがより主体的にチャレンジできるよう工夫していきたい。</li> <li>また、職員間で定期的に話し合いの機会を設け、子どもたちの挑戦につながる支援方法を検討していきたい。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流機会や、きょうだい向けのイベント等を実施できていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加しやすい曜日や時間帯、希望される内容の把握が十分とは言えない状況がある。</li> <li>日々の支援を重視する中で、交流機会の設定や実施方法、体制面において整理が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート等を活用し、参加しやすい日時や希望する内容を把握しながら、保護者同士が交流できる機会づくりを検討していきたい。</li> <li>また、きょうだいも参加できる行事や活動についても検討していきたい。</li> </ul>
2	家族支援プログラムや、保護者が参加できる研修・情報提供の機会を十分に実施できていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の支援を中心に実施している一方で、保護者向けプログラムが十分に実施できていない状況がある。</li> <li>保護者への案内方法や情報発信について、参加のしやすさの観点から課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者への案内や情報発信を増やし、保護者も参加しやすい研修や学びの機会を取り入れていきたい。</li> <li>家庭と連携しながら、家族支援につながる取組を検討していきたい。</li> </ul>
3			